



高等部の生徒たち

西備支援学校高等部では、知的障害や身体障害のある生徒たちが、卒業後の自立と社会参加に向けて、一人一人の発達や身体の状態に応じた学習活動に日々取り組んでいます。また、作業学習などで培った様々な力を実際の働く場面で実践するために、産業現場等における実習にも取り組んでいます。作業学習で作成した製品は、地域の方に販売もしています。



岡山県立西備支援学校

ホームページは
こちらから→



Facebookは
こちらから→





こども市議会ミッション体験

～見て・探して・話し合っで決める。そして伝える。～

日時：令和8年2月18日（水）

場所：笠岡市議会棟

参加者：笠岡認定こども園 5歳児（14名）とその保護者（5名）

ミッション

01 クイズ探検



親子で議会棟を探検しながらクイズに挑戦



議場の議長席に座ってみました。

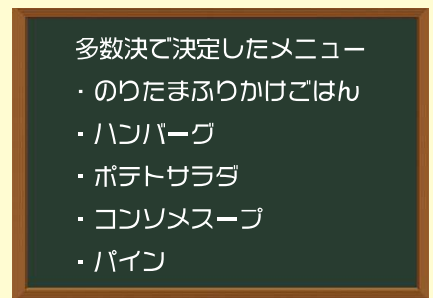
ミッション

02 こども議会体験

議場での「こども議会体験」では、園児が事前に考えた3つの給食メニューの中から「一番食べたい給食」を多数決で選びました。多数決の結果、2つのメニューが同数となりましたが、議会では可否同数の場合、議長が最終的に決することとなっています。そこで、本番の議会さながらに、こども園の「議長役」として園長先生に代表して最終決定していただき、「一番食べたい給食」を決定しました。決定したメニューは、3月の給食として実際に提供されました。



ボールを箱に入れて投票。模擬選挙形式で多数決を体験。



多数決で決定したメニュー

- ・ のりたまふりかけごはん
- ・ ハンバーグ
- ・ ポテトサラダ
- ・ コンソメスープ
- ・ パイン



みんなで決定したメニューを実食！仲良く「もぐもぐ」

笠岡市議会では、笠岡認定こども園の園児とその保護者を対象に「市議会ミッション体験」を実施しました。この体験ではこどもたちが4つのミッションに挑戦し、自分の考えを話し、友だちの話を聞く体験を通じて、議会の役割を楽しく学びました。

ミッション

03 園生活の思い出発表

議場で行われた「園生活の思い出発表」で、こどもたちは初めてのマイクに緊張しながらも、勇気を出して発言しました。友だちとの遊びやサッカー、先生との鬼ごっこなど、園での楽しかった思い出を立派に発表することができました。



友だちの前で発表する特別な体験に、ドキドキしながら挑戦。

ミッション

04 議長・副議長へ質問



「聞いてみたい!」の気持ちを手を挙げて伝える質問コーナー

こんな質問がありました。

- ・好きな食べ物は何ですか？
- ・どうやってお金を稼ぎますか？
- ・マイクで話すのは緊張しますか？



最後はみんなで記念撮影



議長・副議長もニコニコ。会話が弾んだ記念撮影後のひと幕。

笠岡小学校 議場見学会

～学ぶ・見る・質問する 市議会を体験～

開催日：令和8年1月26日（月）、27日（火）

場所：笠岡小学校、笠岡市議会棟

出前授業

小学校の教室で出前授業を行い、市議会が条例や予算など大切なことを決める仕組みを学びました。あわせて1億円のレプリカを持って予算の重みを体感し、議会の役割への理解を深めました。



小学校の教室で学ぶ市議会の役割



一億円（約10kg）の重さを体感

議場などを見学

小学校の教室で学んだ後、実際の議会の現場を確かめるため、笠岡市議会棟へ移動しました。議場や委員会室など、議会が行われる場所の雰囲気を味わいました。



議場で体感する市議会の現場



議長席で記念の一枚

議長・副議長へ質問

議長・副議長に直接質問し、議会の仕事や考え方を学びました。



「聞いてみたい！」手を挙げるこどもたち

こんな質問がありました。

- ・なぜ市議会議員になったのですか？
- ・議員になってよかったと思うことは何ですか？
- ・どうして議長と副議長の2人がいるのですか？



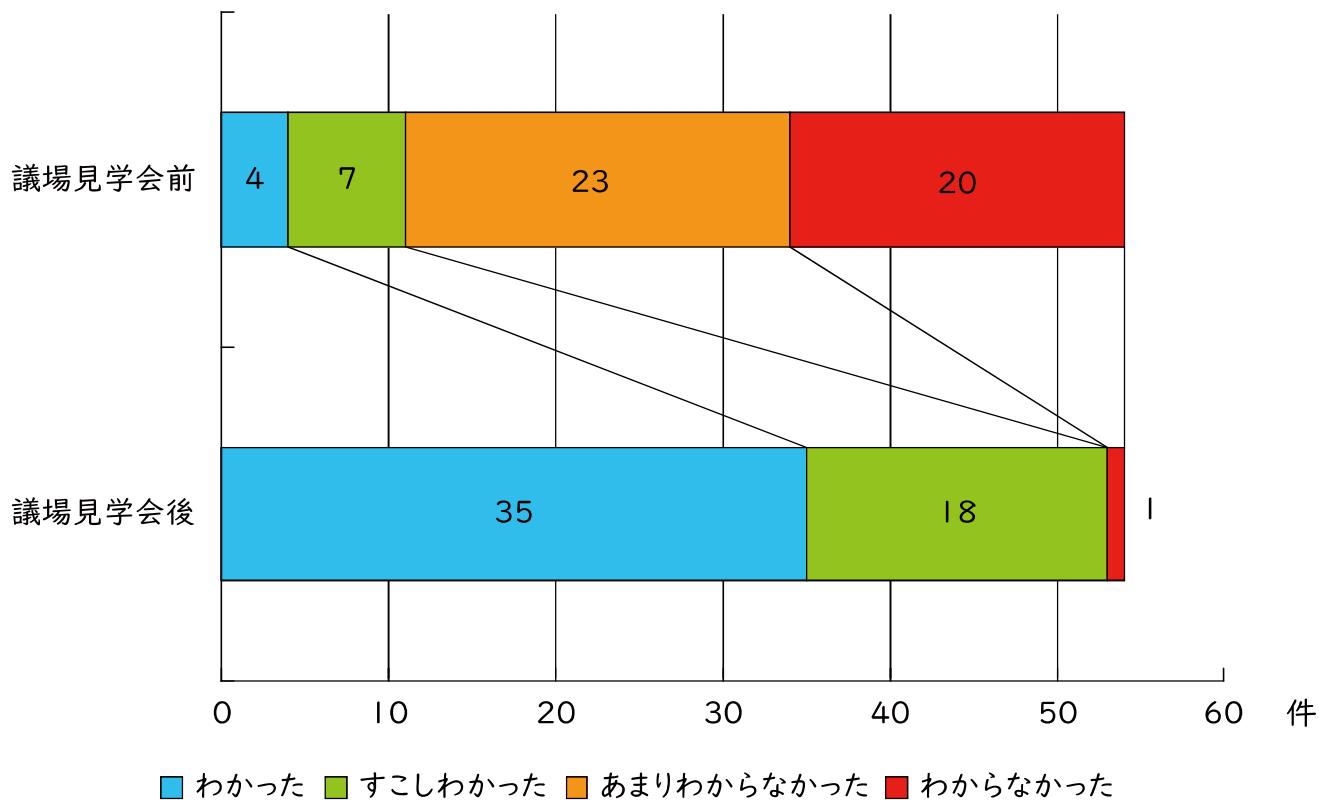
議長・副議長の回答に耳を傾げるこどもたち

市議会をもっと身近に感じてもらうため、笠岡小学校の6年生を対象に議場見学会を実施しました。教室で市議会の仕組みを学んだ後、議会棟へ移動して議場を見学。議長・副議長への質疑応答では、こどもたちが積極的に質問し、市政や議会の役割への理解を深めました。

参加者：笠岡小学校6年生（57名）

市議会の仕組みや議員の役割についてわかりますか？

全 54 件



こどもたちの感想

- 楽しかったし、また行ってみたいと思った。
- めちゃくちゃ面白かった。
- これからも笠岡の未来について話してほしい。
- いろいろなことを聞けた！
- 怖いイメージだったけど明るい人が多かった。
- また見学したい！
- 自分たちの意見が笠岡の未来につながると知った。
- 意外なことや知らなかったことをたくさん知れて良かった。
- 議場に行ける貴重な体験があり、笠岡市は話し合っていて進んでいることが分かった。
- 議場の中がどうなっているか分かった。
- 市議会と議員さんについて分かった。
- 笠岡についてもっと詳しく知ることができた。
- 笠岡市のために色々なことをしてくれてるんだなと思った。
- 思ったよりも歴史があって、いろいろなことを知れて楽しかった。

各種団体との意見交換会

より良い保育環境へ

～笠岡市民間保育所協議会との意見交換会～

令和7年11月に笠岡市民間保育所協議会から笠岡市議会へ提出された要望書を基に意見交換会を開催しました。

保育士不足や少子化、休日保育体制など、現場が抱える課題に対し、今後どのようにしていけばよいか、議会としてどのように向き合うか、活発な議論が行われました。



保育現場の現状や課題について意見を交わしました。

令和8年2月9日（月）

笠岡高等学校の生徒18名

笠岡の未来を高校生と考える

～笠岡高等学校で「請願」の出前授業&意見交換会～



請願の仕組みについて、メモを取りながら真剣な眼差しで学ぶ生徒たち。

自分たちの要望を議会に届ける「請願（せいがん）」。

実はこの制度には年齢制限がなく、高校生でも活用できることをご存じでしょうか？ たとえ未成年であっても、一人ひとりがまちを変える大切な権利を持っています。今回の出前授業では、生徒たちがその仕組みを学びました。

授業の後は、3つのテーマで徹底討論！高校生から飛び出した「笠岡への提言」の一部をご紹介します。

☑ 若者が住んでよかったと思えるまちの姿

「駅周辺に自習室が欲しい！」

「夜間保育や働く子育て世代への支援が必要。」

☑ 市の情報発信方法について

「SNS（XやInstagram）での発信をもっと強化して！」

「外国人向けの多言語化（英語・イスラム圏向け発信）も必要。」

☑ 空き家にしないためにはどうしたらいいか

「若者が行きたくなる店+情報発信がカギ！」

「活用するなら相続の手続きもセットで考えないと！」



笑顔や笑い声も溢れ、高校生らしい柔軟なアイデアが次々と飛び出しました。

消防団員の処遇改善と装備充実を！

～笠岡市消防団との意見交換会～

令和8年2月28日（土）



近年、自然災害が激甚化・頻発化する一方で、団員数の減少や高齢化が進んでおり、活動の継続性が懸念されています。こうした現状を踏まえ、現場で活動する団員の皆様から、切実な要望を伺いました。

現場の課題について熱心に意見を交わす消防団員の皆様と議員

【主な要望事項】

1. 消防団員の処遇改善

活動意欲向上のため、報酬及び出動手当の見直し。

2. 活動環境の整備と装備の充実

(1) 装備品の更新・導入

老朽化した消防車両の更新や、活動しやすい軽量・高性能な個人装備（雨衣など）の導入。

(2) 消防施設の改修

消防機庫のトイレや電気設備の改修、通信機器の整備。

私たちの声も届けたい

～西備支援学校で出前授業&意見交換会～

令和8年3月2日（月）

西備支援学校高等部の生徒4名

教室に入った瞬間からピンと張り詰めた空気。生徒たちは普段接することのない議員を前に、終始緊張した様子でした。

それでも、前半の出前授業での「議員の1日」紹介やクイズの時間には、じっと耳を傾け、頷きながら参加してくれました。その姿からは、「社会のことを知りたい」という静かな熱意が感じられました。

後半の意見交換では、議員の問いかけに、自身の生活で困っていることを一生懸命に話してくれました。

最後まで真剣に向き合ってくれた生徒たち。今回の取組が、生徒たちの主権者としての第一歩の後押しとなることを願っています。



じっくりと考えてから回答へ。

一問一問、真剣に向き合う姿勢が印象的でした。

高校生が描く、未来の笠岡市役所！

～笠岡市本庁舎建て替えに向けた意見交換会～

令和8年3月14日（土）、笠岡市内の高校に通う生徒21名と議員による意見交換会を開催しました。

テーマは「笠岡市本庁舎の建て替え」。

当日は高校生と議員が4つのグループに分かれて意見交換を行い、高校生ならではの柔軟でワクワクするアイデアがたくさん飛び出しました！

高校生のみなさんと一緒に考えたアイデアは、これからの新しい市役所づくりに向けた議論の中で、大切な参考とさせていただきます。



リラックスした空気の中で率直な意見が次々に。

カフェ、キッズスペース、自習室など、多様な世代が集える場所になったら良いな！

まちのシンボルになる市役所がほしい！

笠岡らしさが伝わるコーナー（島・カブトガニ・特産）を作りたい！



付箋を使って整理しながら、未来の市役所を考えました。



堂々と発表。若い視点のアイデアに、議員も熱心に耳を傾けました。



意見交換を終えて、笑顔でグループ記念撮影。

地域公共交通政策の現状と今後の展開

実施日：令和8年2月16日（月）
場 所：笠岡市中央公民館 集会室
講 師：国土交通省 総合政策局
モビリティサービス推進課
総括課長補佐 内山裕弥 様



講師
内山裕弥様

今回の研修会は、笠岡市議会議員、井笠圏域の2市2町の市・町議会議員、笠岡市職員の40名が参加しました。

地域における移動手段の確保が喫緊の課題となっていることを受け、国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 総括課長補佐の内山裕弥様を講師にお招きし、「地域公共交通政策の現状と今後の展開について」と題してご講演いただきました。

おもな内容

人口減少や高齢化の進行により、公共交通の利用者が減少していることに加え、運転手不足などの影響で路線の減便・廃止が進み、地域の移動ニーズと公共交通の供給との間にギャップが拡大しており、これまでの交通事業者同士の「競争」や行政による「赤字補填」を中心とした政策から、交通事業者や行政が「共同化・協業化」しながら持続可能な公共交通を確保していく政策へと転換していく必要があると説明されました。

その解決策の一つとして「地域輸送資源のフル活用」の重要性が提言されました。

また、具体的な施策として、次の2つの取組が例として紹介されました。

1. 「移動したい人」と「運ぶ手段」の統合調整

事業者ごと（福祉・観光・教育施設など）に運行管理している送迎車両について、共通システムで管理し、共同運行することで送迎に掛かる車両・人といった負担を分担するなど、デジタル技術を活用した効率的なサービスへ転換する。

2. 「移動したい人」と「運ぶ手段」の集約化

路線バス、コミュニティバス、スクールバスなど複数の移動需要を路線バスに集約（混乗化）するなど、運行の効率化を図り、公的負担を抑制する。

講演後の質疑応答では、議員から地域の実情に即した具体的な質問が多数ありました。

「公共交通の利用率向上」や「地域住民との合意形成の在り方」などについて活発な意見交換が行われ、持続可能な公共交通の確保について理解を深める貴重な機会となりました。

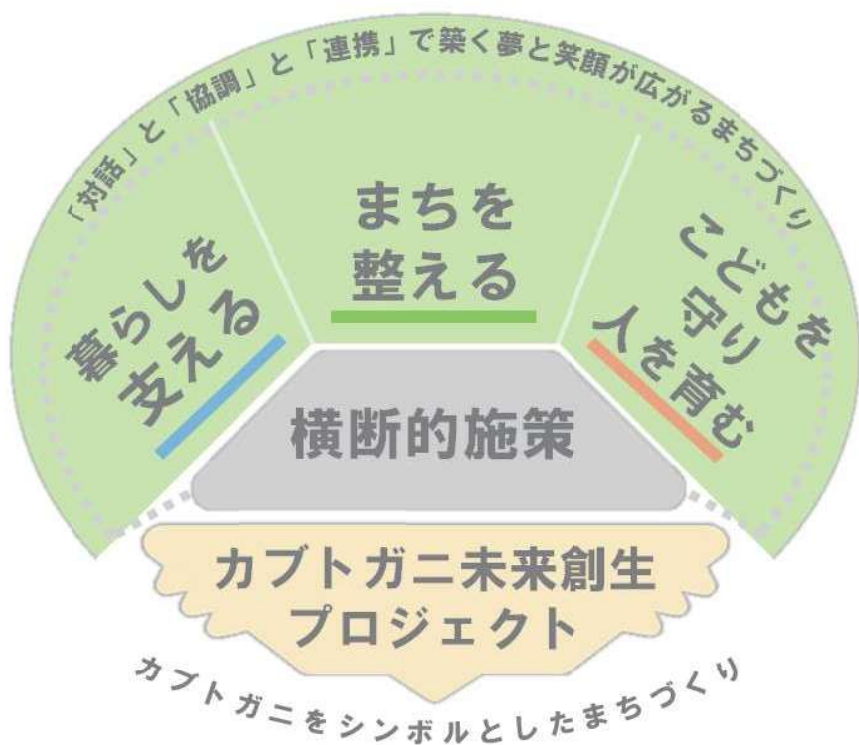
どうなる？これからの笠岡市 ～令和8年度予算～

令和8年度は、今後の本市の指針となる「第8次笠岡市総合計画」がスタートする重要な年となります。本計画では、将来ビジョンが『「対話」と「協調」と「連携」で築く夢と笑顔が広がるまちづくり』と定められ、その実現に向けた基本理念として「暮らしを支える」「まちを整える」「子どもを守り人を育む」の3つの柱が掲げられました。

令和8年度予算について、市からは『3つの基本理念と「カブトガニ未来創生プロジェクト」を通じた「カブトガニをシンボルとしたまちづくり」の推進により、市民の皆様が笠岡に愛着を持ち、安心して幸せに暮らすことができ、暮らして良かったと思える笠岡を実現する。』と提案されました。

本紙面では、市議会で審議された令和8年度予算の主な内容と、市議会からの要望事項をご紹介します。

令和8年度一般会計予算
249億8,980万円



当初予算額 7,704 百万円

当初予算額 5,599 百万円

暮らしを支える

・道の駅笠岡ベイファームリニューアル事業	36,225 千円
・住宅リフォーム助成金	20,000 千円
・地域経済活性化専門人材活用事業	12,000 千円
・中小企業伴走支援補助金	8,631 千円
● ガラモ場（藻場）整備事業	5,000 千円
・地域で行う健康増進事業	1,720 千円
● カブトガニ関連商品開発事業	1,200 千円

まちを整える

・離島航路維持補助金
・高齢者タクシー利用助成事業
・まちなみづくり支援事業
・臭気対策事業
・地域の移動支援事業
● カブトガニ環境サミット
・航路改善計画策定事業

※「カブトガニ未来創生プロジェクト」に関連する予算には、目印としてカブトガニのマーク（●）をつけています。

※紙面の都合上、事業名と予算額のみを掲載しています。事業の詳細は市ホームページをご覧ください。

市議会からの予算要望

・学校統廃合

（スクールバス運行事業、学用品補助事業、新小学校準備事業）

スクールバス運行事業については、市内一括委託などによる費用抑制の検討を求めました。

また、学用品補助事業は統合する全学校を対象とすること、新小学校準備事業では統合時期が異なる場合でも関係者から平等に意見を聞き、不公平感のないよう配慮することを要望しました。

・消防団活動備品整備事業

災害時の即時対応能力の維持強化と、団員の安全確保・モチベーション向上のため、全ての団員が安心して活動できるよう、必要な装備品の早急な整備を求めました。

・飼料高騰対策補助金（物価高騰対策）

飼料価格の高騰に対して、生産者と情報交換を行って現場の声を国や県へ届ける要望活動を実施するとともに、国や県と情報交換を行い、早期に対応ができるよう求めました。



当初予算額 6,181 百万円

こどもを守り人を育む

65,565 千円
56,370 千円
30,000 千円
18,035 千円
5,080 千円
2,600 千円
1,547 千円

・子ども医療給付事業（対象年齢拡大）	230,070 千円
・屋内運動場空調整備事業	135,900 千円
・小学校給食費無償化事業	108,401 千円
・医療的ケア児保育支援事業	9,529 千円
・中学校給食食材費補助金	9,021 千円
・電子図書館導入事業	6,344 千円
・不妊治療費助成事業	4,000 千円



ひと目でわかる 審議結果



全会 一致で可決した議案等

議案等		
議案第3号	令和7年度笠岡市一般会計補正予算(第8号)	議案第29号 笠岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第4号	令和7年度笠岡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議案第30号 笠岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第5号	令和7年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計補正予算(第2号)	議案第31号 笠岡市手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について
議案第6号	令和7年度笠岡市へき地診療施設特別会計補正予算(第1号)	議案第32号 笠岡市建築確認事務等手数料条例の一部を改正する条例について
議案第7号	令和7年度笠岡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議案第33号 笠岡市建築物エネルギー消費性能の向上等に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について
議案第8号	令和7年度笠岡市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	議案第34号 笠岡市低炭素建築物新築等計画認定事務手数料条例の一部を改正する条例について
議案第9号	令和7年度笠岡市水道事業会計補正予算(第1号)	議案第35号 笠岡市水道条例及び笠岡市公共下水道条例の一部を改正する条例について
議案第10号	令和7年度笠岡市下水道事業会計補正予算(第1号)	議案第36号 笠岡市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について
議案第11号	令和7年度笠岡市病院事業会計補正予算(第1号)	議案第37号 笠岡市立中学校及び小学校に関する条例の一部を改正する条例について
議案第13号	令和8年度笠岡市国民健康保険事業特別会計予算	議案第38号 笠岡市認知症対応型共同生活介護事業所条例及び笠岡市認知症介護研修センター設置条例を廃止する条例について
議案第14号	令和8年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計予算	議案第39号 第8次笠岡市総合計画の策定について
議案第15号	令和8年度笠岡市へき地診療施設特別会計予算	議案第40号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更について
議案第16号	令和8年度笠岡市後期高齢者医療特別会計予算	議案第41号 市有財産の処分について(その1)
議案第17号	令和8年度笠岡市介護保険事業特別会計予算	議案第42号 市有財産の処分について(その2)
議案第18号	令和8年度笠岡市水道事業会計予算	議案第43号 市有財産の無償譲渡について(その1)
議案第19号	令和8年度笠岡市下水道事業会計予算	議案第44号 市有財産の無償譲渡について(その2)
議案第20号	令和8年度笠岡市病院事業会計予算	議案第45号 市道路線の認定、廃止及び変更について(その1)
議案第21号	笠岡市役所及び出張所の設置に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について	議案第46号 道の駅「笠岡ベイファーム」の指定管理者の指定について
議案第23号	笠岡市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について	議案第47号 損害賠償額の決定について(その1)
議案第24号	笠岡市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	議案第48号 笠岡市監査委員の選任について
議案第25号	笠岡市一般職の職員の給与に関する条例及び笠岡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	発議第1号 後期高齢者医療保険料の急激な上昇抑制に向けた後期高齢者医療財政安定化基金の活用を求める意見書
議案第26号	笠岡市障害者医療費給付条例の一部を改正する条例について	発議第2号 笠岡市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び笠岡市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第27号	笠岡市介護保険条例の一部を改正する条例について	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第28号	笠岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	取り下げ 請願第13号 いきいき交流センターの入浴施設の廃止に係るより適切な代替案を求める請願

賛成・不賛成の分かれた議案等

賛成○ 不賛成●

議案等	議員	創政みらい								讃志会			いぶき	公明党		みんなの笠岡		諸派				
		天野	仁科	桑田	大月	山下	宮崎	村上	大山	奥野	山本	西山		藤井	妹尾	齋藤	大本	真鍋	守屋	井木	加藤	藪田
議案第12号 令和8年度笠岡市一般会計予算	賛成 : 18 : 1 不賛成 :	喜一郎	文秀	昌哲	隆司	恭司	秀夫	太志	盛久	泰久	聡	博行	義明	博之	一信	邦光	陽子	基範	守	守	義久	誠二郎

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わるできません。



公明党

質問者

さいとう かずのぶ
齋藤 一信

所属議員

おおもと くにもつ
大本 邦光

笠岡市の財政は健全化されているのか？

質 財政健全化プランが開始された初年度を振り返り、本市は市民生活への影響をどのように整理しているのか尋ねる。

答 令和7年度は、財政健全化プランの初年度となり、事業見直しなどを当初予算で反映して、それに基づき、各種施策を実施した。減額や廃止となった事業については、関係者の意見を聞くなど、状況などを確認しながら本年度の各種施策を進めており、市民生活や安全・安心において大きな影響があると判断したものについては、事業費を一定程度増額した。引き続き、状況をしつかり把握しながら、必要に応じて対応していく。

笠岡市で英語ぺらぺらプロジェクトを実現したい！

質 保護者の収入に関係なく、笠岡市で義務教育を受ければ、全員が英語をぺらぺらに話せるようになるという特徴的な事業をぜひ進めていただきたいと思うが、見解を尋ねる。

答 グローバル化が進むこれからの社会において、英語をはじめとする外国語の力をしっかりと身につけることは、必要な能力であると考えている。笠岡の魅力をしつかりと語れるようにすることと併せて、外国語教育を絡めた「地域探究学習」も、本市ならではの特徴ある取組として進めていきたい。



創成みらい

質問者

やました きょうじ
山下 恭司

所属議員

あまの きいちろう
天野 喜一郎
にしな ふみひで
仁科 文秀
おおつき たかし
大月 隆司
くわだ まさあき
桑田 昌哲
むらかみ たいし
村上 太志
みやざき ひでお
宮崎 秀夫

新市庁舎建設と行政サービスの方向性について

質 新市庁舎建設に向けた市長のビジョンを尋ねる。

答 築約70年の本庁舎は老朽化による地震時の倒壊リスク等を抱え、防災拠点としての機能が限界を迎えている。市民の命を守るため、新庁舎建設は先送りできない喫緊の課題である。令和7年度に基本構想を策定しており、今後は基本計画や基本設計を進め、新庁舎建設へ全力で取り組む。

質 行政サービスの方向性について尋ねる。

答 ワンストップサービスの構築やデジタル化の推進、来庁者の動線の最適化、ユニバーサルデザインの配慮等によって誰もが利用しやすい新庁舎を検討する。

財政健全化プランの進捗状況について

質 市長は「財政健全化に明るさが見えてきた。」と発言したが、その理由を尋ねる。

答 財政健全化プランは順調に進捗しており、収支改善により新規事業の財源を確保しつつ、令和15年度頃に財政調整基金の目標残高20億円を達成する道筋が立った。

質 中期財政見直しにおける物価・人件費高騰の想定値が、市民の生活実態とかけ離れていると思うが、どのように考えているか。

答 物価・人件費高騰の想定値は岡山県が示した数値である。中期財政見直しは、直近の物価高騰や人事院勧告を適切に反映しているほか、今後毎年度、実態に合わせて見直しを見直していく。



みんなの笠岡

質問者
まなべ ようこ
真鍋 陽子

所属議員

もりや もとのり
守屋 基範

笠岡市民の
ウェルビーイングについて

カブトガニをシンボルと
したまちづくりについて

財政健全化プランの
進捗状況について

令和8年度
当初予算について



讃 志 会

質問者
やまもと さとし
山本 聡

所属議員

おおやま もりひさ
大山 盛久
おくの やすひさ
奥野 泰久
にしやま ひろゆき
西山 博行

質 岡山県による少子化要因「見える化」ツールによると、本市は「若年層・子育て世帯の希望」及び「高校生の希望」におけるウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に満たされた良好な状態）の項目において、多くの指標が県内市町村平均を大きく下回っている。指標改善を目指しているのか。

答 アンケートは実施時期や対象者によって数値が変動するものではないが、今回の若年層に関する数値が非常に低いことは認識している。複合的に施策を進めながら、高校生をはじめとする若年層の方々に情報を発信し、笠岡に愛着を持っていただく。今回の数値を受け止めた上で対策をして、次回アンケートの数値向上を目指す。

質 ①カブトガニ保全区域流域における低農薬、減農薬、無農薬農業への転換について。②森林管理における農薬散布の見直しについて。③開館から36年を迎えるカブトガニ博物館リニューアルについて。

答 ①農薬は、カブトガニの生育環境を含めた周辺環境に悪影響を及ぼすことがないよう、適正に使用していくことが必要。②被害対策と環境保全の両立を目指し、必要最小限の範囲で実施。③リニューアルは必要だが、その時期や内容については、今後の財政状況の推移や公共施設全体の在り方、カブトガニ博物館未来ビジョン等を総合的に勘案しながら検討したい。

その他、「期日前投票における二重交付」「防災」について質問しました。

質 予算の削減または廃止に至った事業費の総額について。

答 令和7年度では補助金やイベント等の減額・廃止等で、年間約2億2900万円の効果を見込んでいたが、増額したものを加味し、最終的に2億2600万円となる見込みである。

質 金利上昇や物価高騰、公共施設の長寿命化に伴う想定外の支出を含め、収支見通しとの乖離の状況はどうか。

答 現時点ではほぼ予定通り。緊急対応があれば柔軟に対応する。財政健全化プランを着実に実行し、収支のバランスを見ながら財政調整基金に積み増ししたい。

質 利便性の高い立地を生かした地域価値向上の取組について尋ねる。

答 令和8年度から中心市街地の活性化と持続可能なまちづくりを目的としたまちなみづくり支援事業に新たに取組む。具体的には空き家等の除却や共同住宅の建築工事への支援を行う。

質 今後、企業誘致をどのように進めていくのか。

答 民有地への企業立地に対する奨励金を拡充することにより、受け入れ体制を整える。

質 戦略的観光振興とは。

答 包括連携協定先の㈱モンベルのノウハウを生かし、笠岡諸島やほかの周遊エリアへの誘客を促進する。

質問者
にしやま ひろゆき
西山 博行



小学校統合準備の
進捗について

質 統合の進捗を地域住民や市民へ周知していくための方法と今後の周知予定について尋ねる。

答 統合準備委員会だよりを作成し、連絡システム「すぐる」で保護者への情報提供や、まちづくり協議会と連携した地域住民への周知など、複数手段を組み合わせて、今後も行っていく予定である。

質 小学校の統合によって校区が広がるが、地域に密着した「総合的な学習の時間」について、統合前と同様の取組を今後どのように進めていく方針か。

答 拡大した校区全体の地域資源を活用し、地域の特色づくりや課題解決に児童が主体的に参画する地域探究学習を推進していく。

笠岡市の
まちづくりについて

質 小規模多機能自治の構築を含め、令和8年度において本市のまちづくりを具体的にどのように進めていく予定なのか尋ねる。

答 市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、令和8年度を小規模多機能自治の導入に向けた制度設計とモデル構築の元年と位置づけて取り組む。

質 複数存在する縦割り組織を整理し、持続可能な体制への再編についてどう考えているか。

答 各地区の課題はそれぞれ違っていると考える。各地域の実情に合った組織の在り方について、地域の方々の意見を聞きながら、組織を一つにまとめていく方法をしっかりと考えていきたい。



質問者
むらかみ たいじ
村上 太志



持続可能な
保育体制の構築について

質 少子化が進む中、保育は本市単独でなく井笠圏域で支える視点も必要である。就学前施設の再編整備について、公立と民間の役割分担も含め、利用する家庭と現場の双方に無理のない保育体制をどう構築するのか尋ねる。

答 公立保育施設は、地域のセーフティネットや民間保育施設がない地域での保育確保、国・県の施策の先導的・中核的役割として継続していく必要がある。一方、多くの子供が通う民間保育施設もその柔軟性や専門性を生かして積極的に活用していく必要がある。

公立と民間の役割分担を踏まえ、笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画の中で将来像を示していく。広域連携については3市2町で合意形成を進めており、各市町の

強みを生かしながら、より良い子育て環境につながる体制整備を目指す。

答 休日保育は、利用する家庭にとって使いやすく、園や職員に過度な負担が集中しない仕組みでなければ持続しない。現行の民間施設での輪番制も踏まえ、令和9年度以降のより良い制度設計をどう進めるのか尋ねる。

質 休日保育は、共働き世帯や多用な就労形態の広がりを背景に子育て世帯を支える重要な事業であり、公立実施も視野に、場所や人員確保などの課題を整理しながら検討を進める。民間施設とも協議し、実施方法の比較も行いながら、子供・保護者にとってより良く、安定的で持続可能な体制を目指す。



質問者

桑田 昌哲 くわた まさあき



技師不足への取組
及び上下水道事業について

質 水道事業の人手に余力がなく、漏水対応など昼夜を問わず職員が対応に追われていると聞く。負荷軽減のため民間事業者の活用を進めることはできないか。

答 近隣自治体の例を踏まえ、本市でも漏水時の初期対応等の民間委託を検討していきたい。

質 令和3年3月に策定した経営戦略では、令和21年度までの収支検討の結果、10年間は水道料金を据え置きとされてきたが、近年の物価高騰も踏まえた市の見解を尋ねる。

答 令和7年度は経営戦略の定期見直しを行うため、物価高騰などの社会情勢を反映した財政シミュレーションを行い精査する。

防災について

質 聞こえにくい防災行政無線を今後どう扱うのか（現状維持か機能強化か）。また、維持管理に必要な予算規模はどれくらいか。

答 防災行政無線は設置から10年以上が経過しており、更新が必要となっている。同程度の更新を行う場合、約4億円が必要になる見込みである。

質 防災行政無線のデジタル化の代替としてFM放送設備を増強し、民間事業者の整備で高額な更新費を抑えつつ情報伝達の課題を改善できないか。

答 有効な手段の一つであるが、FMラジオの活用は市単独では実施できないため、民間事業者と連携して検討を進める。



質問者

大山 盛久 おおやま もりひさ



財産活用による
歳入確保について

質 市が所有する未利用地の処分や有効活用について、笠岡市公共施設等管理計画におけるこれまでの8年間の実績と今後の方針について尋ねる。

答 令和6年度末までの8年間の公募による宅地の売却実績は16か所で、面積は3万7955平方メートル、売却額は6億8663万円である。これらの土地では新たな住宅や集合住宅等が建設されている。今後も未利用地の掘り起こしを進め、市の公有財産として保有する必要のない財産については、処分や貸付けによる有効活用を図り、市の公有財産の適正な管理を目指す。

質 市が所有する建築物などの処分や有効活用について、笠岡市公共施設等管理計画におけるこれまでの8年間の実績と今後の方針について尋ねる。

答 令和6年度末までの8年間の実績は、市役所分庁第2や市営住宅島しょ部旧職員住宅等の除却を進めたことにより、約8100平方メートルを削減した。一方で、学校給食センターや青空認定こども園等の建設、旧笠岡湾干拓粗飼料生産供給基地の岡山県事務所からの財産譲与などで約6600平方メートルが増加し、差引きでは約1500平方メートルの削減となった。今後は、昨年策定した公共施設の見直し方針に基づき、施設の統廃合などの見直しを加速させることで、施設総量を減らし、削減目標の達成に向けた取組を進める。



質問者 奥野 泰久



笠岡市障害者雇用 対策協議会について

質 障害者の雇用、就労の促進及び安定を図るため、笠岡市障害者雇用対策協議会設置条例に基づいて笠岡市障害者雇用対策協議会が設置されたが、約20年間開催されていない経緯を尋ねる。

答 平成16年度以降、笠岡市福祉施策審議会で雇用問題を含めた様々な障害者の課題を検討しているが、協議会の検討内容の一部と重複していたため、同審議会が役割を担う形となり休止状態に至った。

質 現在、市内の身体障害者は何人いるのか。

答 令和8年1月末現在、本市の身体障害者手帳所持者は1707人となっている。

質 そのうち就労しているのは何人か。

答 就労状況は福祉的就労と一般就労の大きく2つに分けられる。福祉的就労については、令和8年1月末現在で合計29人の方が利用しているが、一般就労については、障害者雇用状況がハローワークで市町単位に集計されるため、本市の就労状況を個別に把握しにくい状況である。

質 公約「障害者雇用を全力でサポート」への対応について尋ねる。

答 障害者一人一人に合った支援のため、就労アセスメントを重視し、職業選択の権利を守る支援体制を整備して、自分らしく働ける環境づくりに取り組む。



質問者 仁科 文秀



道の駅笠岡ベイファームは どう変わるのか

質 道の駅は令和7年度に基本構想を策定し、令和13年度のリニューアルオープンを目指している。建て替える市庁舎と同じくリニューアルに7年かかるというのは長すぎる。スケジュールの短縮はできないか。

答 令和8年度に基本計画ができた段階でスケジュールが固まるため、もう少し短く繰り上げられるよう検討していく。

質 今は道の駅にカブトガニの模型が置いてあるだけであまりアピールできていない。リニューアルを待たずに「カブトガニのまち笠岡」ということを発信できないか。

答 もう少しわかりやすいカブトガニの説明、情報発信をする。商品開発も検討し、売り出していく。

重層的支援体制 整備事業について

質 この事業はどこが始めたのか。

答 地域共生社会の実現を進めていくという国の大きな考え方に基づく事業である。

質 国の方針に基づいて各市町村が主体となって実施する事業に対し、国（財務省）から予算の使途等について指摘がある。始まったばかりの事業に実績がないというのもおかしい。今後、毎年予定している事業に対して国庫支出金減額の懸念はないか。

答 この事業は大切な事業である。国の財政措置の方針の変化には懸念があるので、注視しながら市の負担増が生じないように、必要な財源の確保に取り組んでいく。



質問者

井木 まもる いぎ 守



市営住宅富岡団地の建て替えなど住環境整備について

質 市営住宅富岡団地建て替えはどのようなスケジュールで進むのか。

答 令和8年度にスケジュールや配置などを含む建て替え基本計画の見直しを予定している。

質 住民への説明は行うのか。

答 これまで2回行った。今後の方針が決まり次第、早急に住民説明会を行い、個別相談を実施する。

質 市営住宅への入居希望がある中で、どう空室を埋めていくのか。

答 今年度から定期募集を行っても募集がないものは、随時募集を行っている。エレベーター付き住宅の空室は要望が多いことから、一部募集を始めている。

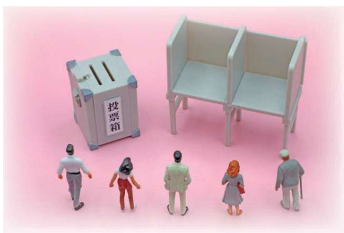
市民の投票権を保障する
施策の実施について

質 今回の総選挙は戦後最短といわれている。選挙の公正さが保障される日程が必要ではないか。

答 今回の選挙日程は、選挙の適正な管理執行に影響があったと認識している。選挙管理委員会としても民主主義の根幹をなす選挙を適正かつ円滑に執行するため、一定の準備期間は必要と考えている。

質 投票区の見直しが計画されているが、投票所を減らすのではなく、増やすべきではないか。また投票所への移動支援が必要だ。

答 令和8年度に、有権者数や距離の不均衡是正、職員減少に対応するため、投票区再編を実施する。投票所への交通手段の確保など有権者の投票機会を広く確保したい。



質問者

守屋 基範 もりや 基のり



市内公立高校の再編について

質 令和7年6月議会でもお尋ねした、高校再編の担当部局を設けることについてどう考えているのか。

答 昨年11月に行われた市長と市内高校の校長先生との意見交換の中で要望があり、本年1月より市から高校への地域連携活動に関する連絡窓口を企画政策課とし、各校との調整を行っている。

質 新しい学科については、2030年に予定されている学習指導要領の改訂を見越し、小中高と一貫した探究学習の新しい形として検討してはどうか。

答 小・中学校で推進している探究学習が、子供自身の進路や将来につながることを期待する。県立高校は取組の中身で連携連動してい

くことを期待する。

地域運営組織の
在り方について

質 まちづくり協議会の再編の見通しについて尋ねる。

答 令和8年度は、小規模多機能自治導入に向けた制度設計とモデル構築の元年として取り組む。ガイドラインを策定し、組織再編を図る。

質 公民館等のコミュニティセンター化等も含め、公民館・まちづくり協議会・社協の代表等で構成される検討委員会を設け、市民と共に向性を決定するべきではないか。

答 今は各地域にまちづくり協議会があり、今後の組織の在り方や地域内での役員の重複をどう解消していくかが課題であると認識している。また、市長との座談会の中で組織の在り方を地域に伝えていく。



～これからの笠岡をつくるのは、今のあなたの声です。～

若年層

対象：15歳～29歳

議会モニター募集

笠岡市議会では、これからの笠岡市の未来を担う10代・20代の皆様の声を、もっと議会運営に反映させたいと考えています。政治の知識は問いません。今の議会にはない、あなたの「率直な声」を届けてください。



市議会ホームページはこちら

ここがポイント！



- ・あなたの意見が議会運営の改善につながります。
- ・普段は入れない「議会の裏側」を知れるチャンス。
- ・市政やまちづくりへの理解が深まります。

対 象：15歳～29歳の方
人 数：10名
任 期：令和9年3月31日まで
申込方法：市議会ホームページから申し込み
申込期限：令和8年5月31日まで
謝 礼：12,000円相当の謝礼（条件あり）
※詳しい募集内容は市議会ホームページをご覧ください。

主な活動は **3** ステップ

ステップ1：議会の仕組みを学ぶ（令和8年6月頃）
最初の活動となる研修会（オリエンテーション）に参加。
議会の役割や審議の進み方など、議会の基本的な仕組みを学びましょう。



ステップ2：議会を見る（定例会の期間中）
定例会（年4回）の期間中、実際に議場へ足を運び、審議の進み方や議論の様子を体感してみましょう。（※学業やお仕事で議場へお越しいただくことが難しい場合は、インターネット中継での視聴も可能です。）



ステップ3：議員と話す（令和9年3月頃）
モニター同士や議員との意見交換会に参加。
あなたが議会を見て感じた疑問や浮かんだアイデアを議員とじっくり話し合ってみましょう。



【お問い合わせ先】
笠岡市議会事務局
電話 0865-69-2161
メール（市議会ホームページのお問い合わせフォームからお問い合わせください）

6月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26	27	28	29	30
	・予算決算委員会協議会 ・予算決算委員会理事会				・議会運営委員会	
31	6/1	2	3	4	5	6
		・本会議初日 (議案上程ほか)	・本会議2日目 (個人質問)	・本会議3日目 (個人質問)	・本会議4日目 (個人質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	・本会議5日目 (諸議案質疑以下) ・予算決算委員会	・総務文教委員会 ・総務文教委員会協議会	・厚生産業委員会 ・厚生産業委員会協議会			
14	15	16	17	18	19	20
	・議会運営委員会	・本会議最終日 (議案採決ほか)				

※赤字の会議は生放送予定です。日程は5月29日の議会運営委員会で決定します。会議は各日とも9:30から開始します。

岡山龍谷高等学校へ感謝状を贈呈しました

年4回発行する市議会かさおかの表紙作成を、令和7年度は市内の高校にお願いしました。

令和8年2月1日に発行した市議会かさおか第187号は、岡山龍谷高等学校に表紙を作成していただいたため、感謝状と記念品を贈呈しました。

この度は、表紙を作成していただき大変ありがとうございました。



感謝状と記念品を手にする先生方



check!

QRコードを読み取ると
表紙を見ることができます。

広報公聴委員会

- 委員長 天野 喜一郎
- 副委員長 齋藤 一信
- 委員 大本 邦光
- 大山 盛久
- 桑田 昌哲
- 仁科 文秀
- 山本 聡

編集の窓

地方自治の力は、華やかな事業よりも、日々の地道な判断の積み重ねに表れる。人口減少、物価高、公共施設の老朽化。笠岡市も例外ではない。限られた財源の中で何を守り、何を変えるのか。議会の役割は対立ではなく、市民の暮らしの視点からその選択を問い続けることにある。議場での地道な議論が、やがてまちの未来を形作る。その重みを胸に、これからも闊達に議論を尽くしたい。